

令和7年度行政評価結果について

1 令和7年度の行政評価の概要

事務事業評価は例年通り、単年度分の評価を行った。
施策評価については、令和7年度が「基本計画2025」の最終年度であるため、計画期間である10年を振り返ることに重点をおき、総括的評価を行った。

2 行政評価の対象

- (1) 施策
「基本計画2025」に掲げる3つの基本目標、9つの基本政策に位置づけのある68施策
- (2) 事務事業
「基本計画2025」の68施策に位置づけのある、697事務事業
- ① 評価対象事業
「いたばしNo.1 実現プラン」の計画事業に関連する事務事業及び「基本計画2025」の施策指標に関連する事務事業（116事業）
- ② モニタリング事業
事務事業のうち①以外のもの。実績やコスト等を記録している。

3 事務事業評価結果の概要

116事務事業を「評価評語」別にみると「順調」「おおむね順調」がそれぞれ57事務事業（49.1%）「停滞」「達成」がそれぞれ1事務事業（0.9%）という結果となっている。
前年度では、「順調」と「おおむね順調」の2つの合計が全体の96.4%、「停滞」が全体の3.6%、「達成」は該当がなかった。「停滞」は「130100-002 地域密着型サービス拠点施設整備費助成経費」で、地域密着型サービス拠点区内事業所数が目標値に満たなかったことからこの評価となった。
「達成」は「310700-015 公園灯」で、すべての公園灯がLEDに更新されたことから「達成」となった。

表1 事務事業評価結果一覧 上段は事業件数、下段は割合

	順調	概ね順調	停滞	達成	総計
基本目標Ⅰ	19	11	1	0	31
	61.3%	35.5%	3.2%	0.0%	100.0%
基本目標Ⅱ	10	21	0	0	31
	32.3%	67.7%	0.0%	0.0%	100.0%
基本目標Ⅲ	26	24	0	1	51
	51.0%	47.1%	0.0%	2.0%	100.0%
計画を推進する 区政経営	2	1	0	0	3
	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
計	57	57	1	1	116
	49.1%	49.1%	0.9%	0.9%	100.0%

4 基本計画2025における施策評価結果（累計）

68施策の評価の累計を「評価評語」別にみると、「順調」と評価された施策は53回（26.0%）、「おおむね順調」が142回（69.6%）、「停滞」が8回（3.9%）、「達成」が1回（0.5%）という結果となった。「停滞」の施策については
「120300 幼・小・中学校の運営・支援」：区内未就学児数に対する幼稚園児割合の停滞、
「120500 いじめ問題・不登校対策等の推進」：不登校児童・生徒出現率の増加、
「120800 読書活動の支援」：区民一人あたりの年間入館回数の停滞及び図書貸出冊数の減少、
「230200 産業集積の維持・発展の促進」：区内立地支援企業数の停滞、
「230300 創業・経営支援と人材育成・就労支援」：区内企業の年間倒産件数増加、
「230500 都市農業の支援と農の活用」：生産農家数の減少、
「310100 スマートシティ“エコポリス板橋”の推進」：環境基本計画に掲げる成果指標に対する進捗状況の未達となっている。

表2 施策評価結果一覧（10年間累計） 上段は評価回数、下段は割合

	順調	概ね順調	停滞	達成	総計
基本目標Ⅰ	19	50	3	0	72
	26.4%	69.4%	4.2%	0.0%	100.0%
基本目標Ⅱ	12	47	4	0	63
	19.0%	74.6%	6.3%	0.0%	100%
基本目標Ⅲ	22	45	1	1	69
	31.9%	65.2%	1.4%	1.4%	100%
計	53	142	8	1	204
	26.0%	69.6%	3.9%	0.5%	100.0%

※68施策×3回の評価により、204の評価結果

参考：評価評語

- 順調 計画通りに進捗しており、目標達成が見込める状態
- 概ね順調※ 進捗状況に課題はあるが、事業の継続により目標達成が見込まれる状態
- 停滞 目標に対してあまり進展していない状態
- 達成 計画通り又は計画より早く進捗し、目標を達成した状態
- ※「概ね順調」は令和元年に「維持」から変更された標語

5 区の最終評価

前頁のとおり、「基本計画2025」に設定された各施策について「順調」「概ね順調」「達成」の評価回数は196回（96.1%）となり、計画通りに進行することができた。

「順調」「おおむね順調」「達成」を合わせた肯定的な評価を基本目標別にみると、基本目標Ⅰでは69回（95.8%）、基本目標Ⅱでは59回（93.6%）、基本目標Ⅲでは68回（97.1%）となった。

また、区の最終評価において、基本目標達成に対する寄与度が高かったとする施策は以下のとおりである。各施策が順調に推移したことにより、3つの基本目標がそれぞれめざす「まちの姿」の実現に貢献した。今後は、これまでの評価を通じて得た知見を、次期基本計画の施策展開に活かしていく。

基本目標Ⅰ…未来をはぐくむあたたいまち

【基本目標への寄与度が高い施策】

- 「110100 子育て施策の総合的な推進」
- 「110300 育児と仕事の両立支援」
- 「120200 確かな学力向上・定着と質の高い教育の推進」
- 「121100 魅力ある学校づくり」
- 「130300 高齢者の地域包括ケアの推進」

基本目標Ⅱ…いきいきかがやく元気なまち

【基本目標への寄与度が高い施策】

- 「210100 健康づくりの総合的な推進と環境整備」
- 「220100 スポーツに親しむまちづくりの推進」
- 「220200 地域の歴史・文化の保全・継承・活用の推進」
- 「220300 個性ある文化芸術の創造と活動の支援」
- 「230300 創業・経営支援と人材育成・就労支援」

基本目標Ⅲ…安心・安全で快適な緑のまち

【基本目標への寄与度が高い施策】

- 「310100 スマートシティエコポリス板橋の推進」
- 「320400 老朽建築物等対策の推進」
- 「330100 地域特性を活かした総合的なまちづくりの推進」
- 「330600 放置自転車対策等交通安全の推進」
- 「330900 多様で良質な住まい・住環境の確保」

○施策全般に見られる共通課題

10年間の評価を通じた共通の課題として、人材不足により様々な場面で担い手の確保が困難となっていることや、多様な価値観を背景して高度化・複雑化する区民ニーズへの対応が求められていることが挙げられる。また、経済危機、大雨等の自然災害、感染症の流行等、厳しい対応が求められた10年でもあった。今後も続く、予測困難で複雑、多様な社会においても、課題に的確に対処し、行政サービスを低下させることなく維持・展開させていくことが求められている。

最終評価を踏まえ、「東京で一番住みたくなるまち」に向けて取り組みを進めていく。

参考 行政評価委員会の行う外部評価

「基本計画2025」の10年の計画期間で、68施策の評価を行った。

外部評価を実施した結果、施策指標の新規設定や、施策アウトカムイメージの変更などの提言があった。

提言をふまえた見直しを行い、施策の進捗などの情報が区民にわかりやすく、開かれた行政評価結果となるよう改善を行った。

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
評価 施策	10	15	15	—	11	9	8	—	—

参考 10年間の行政評価の進化過程

平成29年度

制度目的を「基本計画2025のマネジメントツールとして、施策・事務事業の進行管理を行い、効果測定を通じた評価により、質の高い行政経営を図る」として評価対象を見直し、評価サイクルを確立した。

平成31年度

新公会計制度が導入されたことを契機に、事務事業評価表に、減価償却費や退職手当引当金等を含む人件費等を追加し、フルコストを把握できる様式に変更した。

令和2年度

一部事業について財務諸表情報を含む、「事業別行政評価シート」作成を開始した。

令和3年度

ロジックモデルに基づく施策及び事務事業の体系図「施策展開シート」を公表した。

【付録：令和7年度板橋区事業別行政評価シート】

新公会計の活用を図りつつ、区民に区政の理解を深めていただくことを目的として、行政評価における事務事業評価表と財務諸表を基に、区民が身近に感じられる以下11の事業を対象とした事業別行政評価シートを作成している。

基本目標Ⅰ

- 1 児童館事業
- 2 民間保育所整備事業
- 3 学校給食運営委託
- 4 あいキッズ事業
- 5 福祉園運営

基本目標Ⅱ

- 6 体育施設運営事業
- 7 文化財保護管理事業
- 8 にぎわいのあるまちづくり事業

基本目標Ⅲ

- 9 熱帯環境植物館事業
- 10 放置自転車撤去・保管事業
- 11 区営住宅運営